



「間伐景観を楽しめます」と荒川商工会の
逸見容明事務局長＝秩父市大滝地区

道家(自称)花間で秩父鉄道のSL列車
織人(一)、木村「華パレオエクスプレス
和恵さんは号(4両編成)に乗っ
「3大産業はた。地元の荒川商工会が
見る影もな同鉄道とタイアップした
く、近年は観企画に協力した。
光客も減り気 SL列車は、国道14
味。『まちな0号にほぼ沿った熊谷
かにぎわい通三峰口間約57分を2時間
りをつくっ半前後かけての、のんび
て女の横丁り旅。週末中心に運行(1
にし、活気を日1往復)して21年にな
呼び込みたる。
い」と意欲的 「おしほりをどうぞ」。
編やかすり文様の秩父銘
仙姿の10人は乗客全員に
おしほりサービス。デザ
イナーやコピーライター

景観・味・音・香り・ふれあい

この建物に
縁側がある。喫茶店主と
木村さんが「ここでア
ト展をしよう」と地元へ
持ちかけたのがきっかけ
という。やがて贅川宿保
存会ができ、市教委など
も後援に入った。
昨年、民家活用の常設
ギャラリーもでき、展覧
会は秩父芸術祭参加企画
として、絵画、ガラス・
金工芸、写真、銘仙、人
形製作、箏曲、書、の作品
展示や子ども囃子、そし
て湯茶接待でにぎわう。
荒川商工会の逸見容明
事務局長は、「いま50
00人ほどに減ったが、
最盛期は3倍の人波であ
ふれました。戻ってほし
いです」と活力回復を祈
る。

東京・池袋から電車で
約1時間半。埼玉県秩父
地方は、空青く、緑濃い。
都会のけん騒がうそのよ
うな別天地である。秋空
の、たぐさんのハイカ
ーが行き交う。ここに地
域づくりの新たな光を
と、民・学・官で日本風
景街道「秩父路ルネッサ
ンス」の創造に力を注い
ている。

◆銘仙和服でおしほり
秩父盆地に位置する秩

父市は、このエリアの中
の名残をとどめる。ここ
心だ。江戸から大正の時
数年、ケーキ店や喫茶店
代にかけ、セメント・絹
小物店などお目見え。
心になって活動する分科
ショッピングモール慣れ
会「知々布・織女の会」

◆銘仙和服でおしほり
秩父盆地に位置する秩

父市は、このエリアの中
の名残をとどめる。ここ
心だ。江戸から大正の時
数年、ケーキ店や喫茶店
代にかけ、セメント・絹
小物店などお目見え。
心になって活動する分科
ショッピングモール慣れ
会「知々布・織女の会」

日本風景街道 —輝く人たち—



SL客車で外国人観光客らへおしほり
サービス(写真⑤)と、秩父鉄道を走
るC58＝御花畑駅(写真⑥)

が、みな「地元をPRで
きることであれば」と熱
心である。
◆贅川(にえがわ)宿
の縁側展
木村さんの仕掛けたイ
ベントのひとつが、三峰
口駅から歩いて10分、秩
父市荒川贅川で毎年11月
に2日間開く「贅川宿・
秋の縁側展」。今年19回
目を迎える。
江戸時代から秩父の霊
場・三峰神社へ参詣する
人の宿場だった。幸田露
伴は「瑞西(スエッル
スイスの意)あたりの景
色の絵を目のあたり此処
に見る心地す(1898
年「知々夫紀行」とほめ
ている。道の両側に連な
る38軒は、昔
のたたずまい
を今に伝え
る。



「間伐景観を楽しめます」と荒川商工会の
逸見容明事務局長＝秩父市大滝地区

道家(自称)花間で秩父鉄道のSL列車
織人(一)、木村「華パレオエクスプレス
和恵さんは号(4両編成)に乗っ
「3大産業はた。地元の荒川商工会が
見る影もな同鉄道とタイアップした
く、近年は観企画に協力した。
光客も減り気 SL列車は、国道14
味。『まちな0号にほぼ沿った熊谷
かにぎわい通三峰口間約57分を2時間
りをつくっ半前後かけての、のんび
て女の横丁り旅。週末中心に運行(1
にし、活気を日1往復)して21年にな
呼び込みたる。
い」と意欲的 「おしほりをどうぞ」。
編やかすり文様の秩父銘
仙姿の10人は乗客全員に
おしほりサービス。デザ
イナーやコピーライター



「間伐景観を楽しめます」と荒川商工会の
逸見容明事務局長＝秩父市大滝地区

道家(自称)花間で秩父鉄道のSL列車
織人(一)、木村「華パレオエクスプレス
和恵さんは号(4両編成)に乗っ
「3大産業はた。地元の荒川商工会が
見る影もな同鉄道とタイアップした
く、近年は観企画に協力した。
光客も減り気 SL列車は、国道14
味。『まちな0号にほぼ沿った熊谷
かにぎわい通三峰口間約57分を2時間
りをつくっ半前後かけての、のんび
て女の横丁り旅。週末中心に運行(1
にし、活気を日1往復)して21年にな
呼び込みたる。
い」と意欲的 「おしほりをどうぞ」。
編やかすり文様の秩父銘
仙姿の10人は乗客全員に
おしほりサービス。デザ
イナーやコピーライター

東京・池袋から電車で
約1時間半。埼玉県秩父
地方は、空青く、緑濃い。
都会のけん騒がうそのよ
うな別天地である。秋空
の、たぐさんのハイカ
ーが行き交う。ここに地
域づくりの新たな光を
と、民・学・官で日本風
景街道「秩父路ルネッサ
ンス」の創造に力を注い
ている。

◆銘仙和服でおしほり
秩父盆地に位置する秩

父市は、このエリアの中
の名残をとどめる。ここ
心だ。江戸から大正の時
数年、ケーキ店や喫茶店
代にかけ、セメント・絹
小物店などお目見え。
心になって活動する分科
ショッピングモール慣れ
会「知々布・織女の会」

◆銘仙和服でおしほり
秩父盆地に位置する秩

父市は、このエリアの中
の名残をとどめる。ここ
心だ。江戸から大正の時
数年、ケーキ店や喫茶店
代にかけ、セメント・絹
小物店などお目見え。
心になって活動する分科
ショッピングモール慣れ
会「知々布・織女の会」

景観・味・音・香り・ふれあい

この建物に
縁側がある。喫茶店主と
木村さんが「ここでア
ト展をしよう」と地元へ
持ちかけたのがきっかけ
という。やがて贅川宿保
存会ができ、市教委など
も後援に入った。
昨年、民家活用の常設
ギャラリーもでき、展覧
会は秩父芸術祭参加企画
として、絵画、ガラス・
金工芸、写真、銘仙、人
形製作、箏曲、書、の作品
展示や子ども囃子、そし
て湯茶接待でにぎわう。
荒川商工会の逸見容明
事務局長は、「いま50
00人ほどに減ったが、
最盛期は3倍の人波であ
ふれました。戻ってほし
いです」と活力回復を祈
る。

日本風景街道 —輝く人たち—



SL客車で外国人観光客らへおしほり
サービス(写真⑤)と、秩父鉄道を走
るC58＝御花畑駅(写真⑥)

が、みな「地元をPRで
きることであれば」と熱
心である。
◆贅川(にえがわ)宿
の縁側展
木村さんの仕掛けたイ
ベントのひとつが、三峰
口駅から歩いて10分、秩
父市荒川贅川で毎年11月
に2日間開く「贅川宿・
秋の縁側展」。今年19回
目を迎える。
江戸時代から秩父の霊
場・三峰神社へ参詣する
人の宿場だった。幸田露
伴は「瑞西(スエッル
スイスの意)あたりの景
色の絵を目のあたり此処
に見る心地す(1898
年「知々夫紀行」とほめ
ている。道の両側に連な
る38軒は、昔
のたたずまい
を今に伝え
る。